

北海道内の生活物資輸送と 港湾との関わり

生活を変えた北海道と本州間の輸送の変遷

過去60年間における
北海道の産業経済と港湾利用の関わり【その4】





1 北海道の輸送モードの変遷。

貨物輸送の大動脈
として活躍！

1909年
国鉄
青函連絡船
が誕生



鉄道連絡棧橋貨車航送可動橋
〔函館商工名録〕昭和11年版

本州まで
より便利に！

1970年代
長距離
フェリー
(小樽-舞鶴間)
就航。



北海道と本州を
より近くに！

1988年
青函トンネル開
通を機に、青函
連絡船が廃止



快適、便利、
そして速く！

1996～1999年
高速フェリーの就
航
(小樽港・苫小牧港)



高速道路ネットワークなど、
物流基盤の整備により
よりスピーディーな輸送が可能に！



2 より便利になった小口荷物の輸送。

昔

届くまでかなりの日数がかかった郵送

しかも、
いつ届くか
保証がない

- 郵便局の郵便小包か国鉄の手小荷物(チッキ)を利用するしかなかった。
- 最寄りの郵便局か駅に自ら荷物を持ち込まなければならず、相手先もタイミングを見計らって駅まで取りに行く
- 相手先に届くまでかなりの日数がかかる。



輸送量

●郵便小包
1.8億個
(1976年度)

●国鉄手小荷物
0.9億個
(1976年度)

現在

宅配サービスが充実

- 宅配便のサービスは1976年(昭和51年)より開始
- 出してから3日目には配達
- 1990年にはほぼ全国をネットワーク
- 配達時間の指定ができる ●荷物の追跡もできる
- ドアからドアへ



輸送量

170万個 (1976年度)

11.0億個 (1990年度)

29.1億個 (2005年度)

30年間で
1,700倍
以上の伸び!

お役立ち
コラム

昔

昔は梱包もがっちり!

しっかりと荒縄で荷造りし、宛先・差出人を荷物に直接書いて、荷札を縛りつけないと受け付けてもらえませんでした。



現在

北海道～東京・関西は、3日でちゃんと到着!

そのおかげで、通信販売で産地から直接買えるようになったり、スキー・ゴルフを旅行先に送っておけるようになりました。





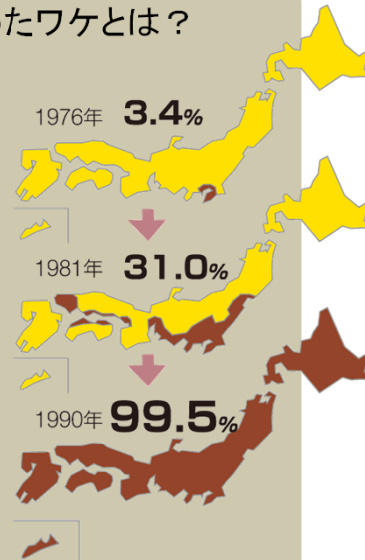
3 小口荷物輸送の便利さを支える北海道のみなと。

大幅に増えた小口荷物の輸送を、北海道と本州を結ぶフェリーやRORO船が支えています。

便利になった 小口荷物の輸送

小口荷物の輸送が便利になったワケとは？

- 高速道路やフェリーなどの物流基盤の整備
- それを利用した全国をネットワークする宅配便事業者の出現



1997年11月、小笠原諸島（父島、母島）の宅急便取扱いを開始し、宅急便の全国ネットワークが完成しました。

資料：ヤマト運輸（株）HP

北海道のみなとの役割

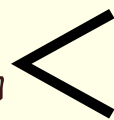
1960年代函館港～青森とのフェリー、1970年代前半小樽港、苫小牧港に長距離フェリーが就航していたおかげで、北海道-本州間も網羅する全国輸送ネットワークを完成させることができます。



お役立ち
コラム

北海道-本州間輸送を支えるフェリー輸送！

例えば「鉄道」。
青函トンネル（1998年開通）を使った鉄道輸送貨物輸送は、年間500万トンが限界。



例えば「フェリー」。
これに対し、フェリーだけでも年間1,000万トン程度の輸送に対応。（H17実績）（さらにRORO船も加えればより大量の輸送に対応可能）。



資料：「数字でみる北海道の運輸」財団法人 北海道陸運協会



4 各地で生鮮品が食べられるようになった。

例えば「生さんま」の場合。

昔

生のサンマは地元だけ！



現在

ほぼ全国で生さんまの刺身が食べられる



お役立ち
コラム

ほぼ全国で生さんまの刺身が食べられるようになった理由

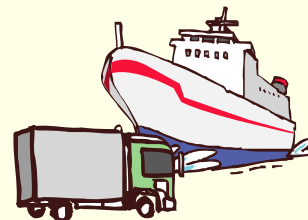
保鮮技術の進歩！

獲った鮮魚を漁船上で箱詰め、または滅菌海水などで鮮度を保持します。



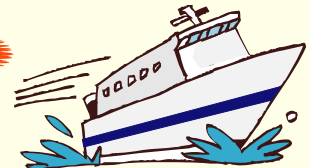
輸送システムの確立！

北海道から関東・関西へ3日目に配送できるトラック+フェリーの輸送システムが確立されました。



3日配達の実現！

1990年代後半、小樽港、苫小牧港に高速フェリーが就航し、3日目配達の実現となりました。





5 北海道の生鮮品を身近にしたフェリーの高速化。

1990年代後半。小樽港、
苫小牧港に高速フェリーが就航

小樽港 苫小牧港

配達エリアが
拡大！

お役立ち
コラム

さんまの水揚げ日本一の北海道！

さんまの産地 水揚げ数量(トン) H22

北海道	82,846
宮城	48,608
岩手	42,264
千葉	13,911
その他	5,796

北海道で水揚げされるサンマは全国の約半数を占めており、道東でさんま漁が盛んに行われています。道東で水揚げされたサンマは、主に小樽港から関西方面、苫小牧港から関東方面へ出荷されています。

資料：社団法人全国さんま漁業協会

